

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [生涯学習](#) | [歴史雑学](#) 6. 武士はなぜ切腹という方法をとったのか?
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

歴史雑学 6. 武士はなぜ切腹という方法をとったのか?

切腹は日本人独特の、世界でも全く例のない特異な自殺方法です。私たちは、自分自身が日本人だから、その昔に自ら腹を割いて死ぬ方法があったことをたいして不思議に思ったりしませんが、やはり外国人からすればその残酷さ、異常さは理解し難いものようです。

ところで、よく考えてみると、腹を切るよりも心臓や喉をついた方が楽に死ぬのに、なぜわざわざものすごく苦痛を伴う切腹を選んだのでしょうか。

これは昔の人達が、魂は腹の中にある、と信じていたからです。たとえば、「肝っ魂」とか「肝をつぶす」という言葉もあるように、頭脳よりも腹の中の臓器の方が重要であると思われていたのです。そこで、魂が宿っている腹を刺したり、切り開いたり、中には腸までも引きずり出したりすれば、死に直結するという思想が生まれたのです。

ところで、実際には切腹しないで首を打たせて死んでいる例の方が多いのですが、時代が鎌倉・室町・戦国と下るにつれて、武士の間には切腹が盛んになってきています。それは何故かというと、切腹は武士だけがやることが出来る勇壮な自殺方法だったからです。その痛さは並大抵のものではなく、気の弱い町人や百姓には実行不可能なもので、武士らしく意志の豪気さを顕示して死ぬには最高のデモンストレーションだったわけです。何も痛い思いをして死ななくてもよいのにとするのは、庶民の浅はかな考えで、切腹の思想は階級意識から発したものだといえます。

ところで、江戸時代における切腹は、このように武士を対象にして制定された最も重い刑罰だったのです。しかも、強制自殺です。武士の中には見苦しく立ち騒ぐ者もいて、それをあくまで武士らしく刑の執行を終わらせるために、介錯人という者がついたのでした。

ちなみに、わが国で初めて切腹をしたのは、永延2年(988年)に死んだ怪盗・袴垂保輔(はかまだれやすすけ)だといわれています。彼は、源頼光と家来の四天王に追いつめられて、これ以上逃亡できないことを知ると、腹を刺し切って腸を引出し、それでも死にきれず、検非違使のもとに連行されて、翌日、獄中で死んだと伝えられています。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覽へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

📄 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.